

宇都宮市立今泉小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」という質問に対する肯定的回答率は84.2%で、全国平均を11.3ポイント上回っている。学校行事や児童会活動を充実させることで、やり遂げた成就感を味わう体験を積み重ねていくことが背景にあると考えられる。

○「自分には、よいところがある」という質問に対する肯定的回答率は43.2%で、全国平均を6.9ポイント上回っている。道徳の時間をはじめ様々な活動を通して自分について振り返る機会を設けたことが、自己肯定感の向上につながっていると思われる。

○「図書室や地域の図書館を週1回以上利用している」と答えた児童が27.4%で、全国平均を9.8ポイント上回っている。図書室の環境を整備したりゴールドマスター(必読図書)を設定したりすることで、児童にとって図書室が身近なものとなっていることがうかがえる。

○「学校に行くのは楽しい」と回答している児童が94.8%で、全国平均を7.8ポイント上回っている。児童にとってわかりやすい授業の展開を図ったり児童一人一人に目を向けた指導・支援を積み重ねてきたことが、学校への所属感の向上につながっていると思われる。

○「人の気持ちがわかる人間になりたい」と答えた児童が100%で、全国平均を6.1ポイント上回っている。縦割り班活動や学校行事・児童会活動を活性化させることで、児童が多くの人と接する機会が増え、他者を思いやる気持ちの醸成につながっていると思われる。

●「1日あたり4時間以上テレビを見ている」と答えた児童が23.2%で、全国平均を4ポイント上回っている。また、「1日あたり4時間以上ゲームをしている」と答えた児童も14.7%で、全国平均を5.1ポイント上回っている。そして、「毎日同じ時刻に寝ている」という質問では本校の肯定回答率は33.5%と全国平均を5.7ポイント下回っている。以上3項目は相互に関連があると考えられる。規則正しい生活や適切なテレビやゲームの利用について家庭との連携を図りながら啓発を図っていききたい。

●「家で、学校の授業の予習をしている」という質問に対しての肯定的回答率は54.7%で全国平均を11.3ポイント上回っている。しかし一方で「全くしていない」と回答している児童も21.1%と全国平均を1.9ポイント上回っており、家庭での学習に対する取り組みが二極化していることがうかがえる。家庭学習の進め方を啓発することで、学習習慣のさらなる定着を図っていききたい。

●「新聞を読んでいる」と答えた児童が16.9%で、全国平均を6.8ポイント下回っている。新聞記事を教材に取り入れたり資料として活用したりして、新聞を読むことの有用性を学習活動を通して感じられるように工夫したい。